



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月7日

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3232 URL <https://holdings.sanco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹谷 賢一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 経理担当部長 (氏名) 岩垣 智憲 (TEL) 059-213-0351  
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績 (令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	69,704	6.2	6,348	43.8	6,540	33.7	4,875	32.5
5年3月期第3四半期	65,660	12.9	4,415	351.4	4,891	157.6	3,680	153.0

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 6,141百万円 (26.2%) 5年3月期第3四半期 4,865百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	48.79	—
5年3月期第3四半期	36.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	174,050	57,895	33.1
5年3月期	167,901	52,777	31.2

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 57,577百万円 5年3月期 52,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
6年3月期	—	6.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 令和6年3月期(予想) 期末配当金には、三重交通グループが創立80周年を迎えることから、記念配当1円を含んでおります。

3. 令和6年3月期の連結業績予想 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	7.4	6,800	6.7	6,800	△1.7	4,400	16.7	44.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年3月期3Q	107,301,583株	5年3月期	107,301,583株
6年3月期3Q	7,258,627株	5年3月期	7,462,274株
6年3月期3Q	99,940,033株	5年3月期3Q	99,755,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	10
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の正常化が進みました。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化など国際情勢は不安定さを増し、国内では円安の影響もあり原材料価格やエネルギー価格の高止まりが続くなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループは、令和5年度を初年度とする4カ年の中期経営計画に基づき、三交不動産㈱において、名古屋市内で「（仮称）第2名古屋三交ビル」、「（仮称）名古屋市中村区椿町ビル」や三重県内で「（仮称）四日市駅前三交ビル」の建設を進め、成長ドライバーとなる不動産セグメントの収益基盤拡充に努めました。

そのほか、ビジネスホテルを運営する㈱三交インにおいて、令和5年7月、幅広いニーズに応えることができるよう、「三交イン伊勢市駅前『別館』 Grande」を開業するなど、ポストコロナにおいて増加する宿泊需要の獲得にも努めました。また、ガソリンや液化ガスを取り扱う三重交通商事㈱において、カーボンニュートラルLPガスの取扱いを始めるなど、環境負荷の低減についても取り組みを進めました。

当第3四半期につきましては、主に需要回復に伴うバス・施設等の利用者増加などにより増収、全てのセグメントにおいて利益を計上することができました。

この結果、当社グループの営業収益は、697億4百万円（前年同期比40億43百万円、6.2%増）となり、営業利益は63億48百万円（同19億32百万円、43.8%増）、経常利益は65億40百万円（同16億48百万円、33.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億75百万円（同11億95百万円、32.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(運輸セグメント)

一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)では、移動需要の回復に加え、令和5年3月に運賃改定を実施したことにより、営業収益は増加しました。一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)では、新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限が無くなったことで、イベントや団体旅行における輸送需要が増えたことにより、営業収益は増加しました。一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)では、伊勢志摩地域における観光需要の回復により、営業収益は増加しました。

この結果、運輸セグメントの営業収益は174億91百万円(前年同期比9億66百万円、5.8%増)となり、営業利益は4億78百万円(同2億1百万円、72.6%増)となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益(百万円)	前年同期比(%)
一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)	7,815	2.6
一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)	4,839	18.4
旅客運送受託事業	3,655	1.4
一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)	584	3.5
貨物自動車運送事業	154	5.1
自動車整備事業	353	13.4
その他	1,785	△0.6
小計	19,188	5.9
内部取引の消去	△1,696	—
合計	17,491	5.8

(注) 一般旅客自動車運送事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	単位	一般乗合 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般貸切 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般乗用 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)
営業日数	日	275	0.0	275	0.0	275	0.0
期末在籍車両数	両	804	△1.0	271	2.3	135	2.3
営業キロ	km	6,931	0.2	—	—	—	—
実働走行キロ	千km	21,963	△0.7	8,053	21.8	1,190	△1.5
旅客人員	千人	28,948	△0.1	1,602	21.9	323	0.1
旅客運送収入	百万円	7,568	2.9	3,547	19.0	575	3.4
運送雑収	百万円	247	△5.6	1,291	16.6	8	12.7

(不動産セグメント)

分譲事業では、戸建住宅の引渡戸数増や売却型賃貸マンションの販売により、営業収益は増加しました。賃貸事業では、新たな物件の取得により、営業収益は増加しました。建築事業では、注文住宅の完工棟数が減となったことにより、営業収益は減少しました。環境エネルギー事業では、天候に恵まれ、発電量が堅調に推移したことにより、営業収益は増加しました。仲介事業では、取扱高の減により、営業収益は減少しました。ビルやマンションの管理等を行う不動産管理事業では、新規物件の受託により、営業収益は増加しました。

この結果、不動産セグメントの営業収益は235億70百万円（前年同期比3億64百万円、1.6%増）となり、営業利益は49億21百万円（同4億16百万円、9.2%増）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
分譲事業	7,120	3.9
賃貸事業	7,208	1.9
建築事業	2,572	△8.8
環境エネルギー事業	4,287	5.2
仲介事業	761	△12.5
不動産管理事業	2,002	5.9
その他	30	△22.6
小計	23,984	1.5
内部取引の消去	△414	—
合計	23,570	1.6

(注) 1 分譲事業及び建築事業の営業収益は、その計上時期が第4四半期連結会計期間に偏る傾向があり、第3四半期連結累計期間の計上額が相対的に少なくなるという季節的変動があります。

2 分譲事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	土地 (ロット)	前年同期比 (%)	建物 (戸)	前年同期比 (%)	営業収益 (百万円)	前年同期比 (%)
戸建分譲	61	△11.6	35	66.7	1,356	4.2
マンション分譲 (持分換算後)	—	—	330 (103.2)	144.4 (△23.6)	5,140	△6.6
土地売却他	—	—	—	—	623	—

3 建築事業における受注状況は下記のとおりであります。

区分	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
建築事業	2,653	△13.0	2,390	△22.3

(流通セグメント)

石油製品販売事業では、ガソリンや液化ガスの販売数量が減となったことにより、営業収益は減少しました。生活用品販売事業では、令和4年11月に「ハンズ名古屋松坂屋店」がオープンしたことなどにより、営業収益は増加しました。自動車販売事業では、大型トラックの新車販売台数増等により、営業収益は増加しました。

この結果、流通セグメントの営業収益は232億50百万円（前年同期比12億30百万円、5.6%増）となり、営業利益は70百万円（前年同四半期営業損失3億48百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
石油製品販売事業	8,026	△2.1
生活用品販売事業	5,795	14.8
自動車販売事業	9,466	7.7
小計	23,288	5.7
内部取引の消去	△37	—
合計	23,250	5.6

(レジャー・サービスセグメント)

ビジネスホテル事業では、レジャーやビジネス需要が堅調に推移し、稼働率・宿泊単価ともに上昇したことにより、営業収益は増加しました。旅館事業では、団体需要の緩やかな回復により、営業収益は増加しました。ドライブイン事業では、団体需要が徐々に回復していることに加え、個人客の取り込みを図ったことなどにより、営業収益は増加しました。索道事業（ロープウェイ）では、季節に合わせたキャンペーンを開催し集客に努めたことにより、営業収益は増加しました。旅行事業では、観光支援策等により高まった個人需要を取り込んだほか、回復傾向にある団体旅行の受注にも注力したことにより、営業収益は増加しました。自動車教習所事業では、入校者数の増等により、営業収益は増加しました。

この結果、レジャー・サービスセグメントの営業収益は105億16百万円（前年同期比21億39百万円、25.5%増）となり、営業利益は8億19百万円（前年同四半期営業損失59百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
ビジネスホテル事業	4,674	34.0
旅館事業	1,766	23.6
ドライブイン事業	654	13.5
索道事業(ロープウェイ)	639	8.8
ゴルフ場事業	376	△0.5
旅行事業	1,535	41.9
自動車教習所事業	649	5.5
その他	223	1.8
小計	10,518	25.6
内部取引の消去	△2	—
合計	10,516	25.5

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末(令和5年12月31日現在)における財政状態は、資産は、棚卸資産や建設仮勘定の増加により1,740億50百万円(前連結会計年度末比61億48百万円増)となりました。また、負債は、借入金の増加等により1,161億54百万円(同10億31百万円増)となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により578億95百万円(同51億17百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、現時点において、令和5年10月26日に開示しました内容から変更はありません。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,333,177	7,623,341
受取手形及び売掛金	7,733,103	7,443,006
商品及び製品	3,304,832	4,030,552
販売用不動産	22,795,771	24,127,720
仕掛品	299,335	451,794
原材料及び貯蔵品	273,028	294,409
その他	2,572,624	2,608,328
貸倒引当金	△7,726	△9,072
流動資産合計	46,304,145	46,570,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,204,211	22,854,258
機械装置及び運搬具（純額）	20,358,918	19,637,232
土地	54,654,604	55,819,385
その他（純額）	2,195,545	5,449,908
有形固定資産合計	100,413,279	103,760,784
無形固定資産		
その他	543,873	506,080
無形固定資産合計	543,873	506,080
投資その他の資産		
その他	20,750,544	23,322,313
貸倒引当金	△110,233	△109,110
投資その他の資産合計	20,640,311	23,213,203
固定資産合計	121,597,463	127,480,068
資産合計	167,901,609	174,050,150
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,646,768	3,324,051
短期借入金	11,020,000	12,160,000
1年内返済予定の長期借入金	24,893,889	26,239,993
未払法人税等	1,748,877	759,895
引当金	1,033,401	464,694
その他	8,208,438	9,347,880
流動負債合計	53,551,374	52,296,515
固定負債		
長期借入金	43,606,491	44,606,021
引当金	439,314	439,008
退職給付に係る負債	1,983,793	1,919,462
資産除去債務	1,780,758	1,791,435
その他	13,762,071	15,102,529
固定負債合計	61,572,429	63,858,457
負債合計	115,123,804	116,154,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	10,488,281	10,545,173
利益剰余金	31,092,032	34,868,258
自己株式	△681,593	△663,130
株主資本合計	43,898,720	47,750,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,916,159	6,089,004
土地再評価差額金	3,282,401	3,282,401
退職給付に係る調整累計額	370,083	455,790
その他の包括利益累計額合計	8,568,645	9,827,197
非支配株主持分	310,439	317,678
純資産合計	52,777,804	57,895,177
負債純資産合計	167,901,609	174,050,150

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
営業収益	65,660,582	69,704,017
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	47,153,609	49,382,320
販売費及び一般管理費	14,091,440	13,973,398
営業費用合計	61,245,050	63,355,719
営業利益	4,415,532	6,348,298
営業外収益		
受取配当金	183,337	253,019
その他	574,253	206,234
営業外収益合計	757,591	459,253
営業外費用		
支払利息	243,829	241,480
その他	37,351	25,210
営業外費用合計	281,181	266,690
経常利益	4,891,941	6,540,861
特別利益		
補助金収入	12,959	58,737
その他	24,865	1,066
特別利益合計	37,825	59,803
特別損失		
固定資産処分損	49,895	62,124
固定資産圧縮損	12,837	55,723
その他	14,497	20,488
特別損失合計	77,230	138,336
税金等調整前四半期純利益	4,852,536	6,462,328
法人税等	1,161,237	1,579,703
四半期純利益	3,691,298	4,882,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,653	6,945
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,680,644	4,875,680

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	3,691,298	4,882,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,221,672	1,173,569
退職給付に係る調整額	△47,691	85,706
その他の包括利益合計	1,173,981	1,259,276
四半期包括利益	4,865,279	6,141,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,856,050	6,134,232
非支配株主に係る四半期包括利益	9,228	7,669

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	15,430,664	21,582,291	20,398,219	8,249,407	65,660,582	—	65,660,582
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	1,095,121	1,624,471	1,621,835	127,558	4,468,986	△4,468,986	—
計	16,525,785	23,206,763	22,020,054	8,376,966	70,129,569	△4,468,986	65,660,582
セグメント利益 又は損失(△)	277,305	4,505,096	△348,018	△59,466	4,374,917	40,614	4,415,532

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額40,614千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	16,239,658	21,865,587	21,265,082	10,333,688	69,704,017	—	69,704,017
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	1,252,134	1,705,293	1,985,814	182,413	5,125,656	△5,125,656	—
計	17,491,793	23,570,881	23,250,896	10,516,102	74,829,673	△5,125,656	69,704,017
セグメント利益	478,670	4,921,773	70,896	819,992	6,291,332	56,965	6,348,298

(注) 1 セグメント利益の調整額56,965千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれておりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。